

## 本時のねらい

ハードル走において、自己の課題を見つけ、合理的な解決に向けて考える。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

1 人 1 台タブレット PC を活用して、自分のハードリングを陸上選手のハードリングと比較しながら確認することで、自分のペースでより効率的に自己の課題を見つける。

自分で見つけた課題に対し、インターネットで調べる活動を通して自分自身で解決方法を考えることで、次回の実技授業への意欲につなげる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC                      ・授業支援ソフト (Google classroom)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	○前回までのハードル走の授業で出た難しさや、ポイントについて振り返る。 ・振り上げ足をしっかりとあげること ・抜き足を横から抜くこと ・遠くから踏み切ること	
展開 (40 分)	○自分達のハードル走の動画と、陸上選手のハードル走の動画を視聴する。  ○動画を比較することで気付いた自己の課題をプリントに記入する。  ○自分自身が見つけた課題を解決するための練習法や意識すべき点をインターネットで調べてプリントに記入する。	・授業支援ソフト (Google classroom) で動画を共有する。 ・動画のスロー再生機能の使い方を生徒に伝える。 ・個々の生徒のペースで動画を視聴させる。  ・インターネットでの検索の仕方を説明する。
まとめ (5 分)	○ふりかえりをプリントに記入する。	

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：自分の動画を視聴する様子



写真 2：自分のハードル走を友達に見てもらい、課題を探す様子



写真 3：陸上選手の動画を見て、自分達との違いを探す様子

## 児童生徒の反応や変容

・自分のペースで動画を視聴し、動きの確認がしっかりとできたので、「自分が思っていたよりも自分の動きは○○だった。」「次は、○○を意識してハードル走の練習をしたい。」などのふりかえりの記述があり、学びが深まるとともに次の学びへのモチベーションにも繋げることができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・1 人 1 台タブレット PC を使って自分のペースで自分自身の動きと向き合う時間を確保することで、自分の課題を自分で見つけ解決に近づけたという達成感が生まれ、もっとできるようになりたいというモチベーションに繋がることがわかった。

・1 人 1 台タブレット PC を使うことで、繰り返し再生したり、動画のスロー再生機能を使ってハードル走の動きを細部まで確認したりできるので、自己の課題を発見しやすくなった。

・体育の実技と教室での座学を繋げるツールとしてタブレット PC を活用することで、体を動かすことが好きな生徒が教室でも懸命に取り組む姿が見られた。